

## 慣用句シリーズ

ここでは毎月、覚えておきたい慣用句を取り上げます。みなさんはどのくらい知っていますか？

### 慣用句

『しり馬に乗る』

意味:あまり深く考えず他の人に合わせて言ったりしたりすること。

ひとこと:類義語として付和雷同(ふわらいどう)がある。

使い方:私は人のしり馬に乗って友達のうわさ話をする悪い癖がある。

『白い目で見ると』

意味:冷たい目つきで人を見ること。

ひとこと:昔、中国の賢人が気に入らない人を迎えるときに、上目使い(白い目)で見たことからきた言葉。

使い方:遅刻して教室に入ったら、皆に白い目で見られた。

『涼しい顔』

意味:知っていながら知らん顔をするという意味。

ひとこと:“涼しい”はさっぱりとしてすがすがしいという意味。

使い方:彼のせいで先生に怒られたのに、自本人は涼しい顔をしている。

『すねをかじる』

意味:自分の力で生活できないで、親などの世話になること。

ひとこと:“すね”はひざから足首までの部分。

使い方:どんなに偉そうなことを言っても、まだ親のすねをかじっているうちは一人前ではない。